本資料の正文は運用会社作成の英文資料です。記載内容は英文が優先しますので、必ずご確認ください。

LMBS

ファーストトラスト ローデュレーション オポチュニティーズETF

2026/6/30

ファンドの目的

この上場投資信託（ETF）は、インカム収益の獲得を第一としてキャピタルゲインも追求することを目指します。

ファンド概要

ファンドティッカー	LMBS
ISIN	US33739Q2003
CUSIP	33739Q200
iNAVティッカー	LMBSIV
ファンド設定日	2014/11/04
総経費率^	0.66%
30日SEC利回り†	4.05%
主要取引所	Nasdaq

ファンド詳細

- 当ファンドはアクティブ運用型の上場投資信託（ETF）です。
- 純資産総額（投資借入金を含む）の60%以上を投資適格のモーゲージ関連証券および住宅・商業用モーゲージに関連するモーゲージ関連商品に投資することにより、投資目的の達成を目指します。
- ファンドへの投資には以下のようなメリットがあります。
  - 実効デュレーション目標が3年以内の魅力的なインカムゲイン水準；
  - ポートフォリオの平均デュレーションの管理・抑制に重点を置いているため、価格感応度は限定的；
  - 資産の60%以上が政府機関保証のモーゲージ・セクターであり、資産の信用度が高く、信用サイクルに対する価格感応度が低い；
  - 大規模で流動性の高い資産クラスは、効率的なポートフォリオのリバランスに効果的。

ファンド・アドバイザー

- ポートフォリオはFirst Trust Advisors L.P.によって選択・管理されています。
  - ポートフォリオ・マネジメント・チームは、世界経済、債券市場のマクロ動向、主要な住宅ローン担保証券セクターにおける今後の価値と動向に焦点を当てたトップダウン・リサーチを採用しています。
  - ポートフォリオ・マネージャーは、住宅市場全体のファンダメンタルズを徹底的かつ継続的にモニタリングし、定量的なポートフォリオ・モデリングを行い、ファンドの3年間のデュレーション目標内に収まるようにポートフォリオをリバランスする能力が、より高いリスク調整後リターンを達成するために不可欠であると考えています。
- 日々の投資判断は以下のポートフォリオ・マネージャーによって行います。
  - ジム・スナイダー、ポートフォリオ・マネージャー、シニア・バイスプレジデント、政府機関・証券化商品グループ
  - ジェレマイア・チャールズ、ポートフォリオ・マネージャー、シニア・バイスプレジデント、政府機関・証券化商品グループ
  - オーウェン・アロンソン、ポートフォリオマネージャー、シニア投資アナリスト、政府機関・証券化商品グループ

パフォーマンス概要(%)

	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年	設定来
ファンド・パフォーマンス*							
基準価額(NAV)	0.83	1.47	5.06	5.76	3.07	2.68	3.01
市場価格	0.97	1.63	5.25	5.87	3.12	2.68	3.03
指数パフォーマンス**							
Bloomberg US Aggregate Bond Index	0.67	0.62	3.79	4.16	0.08	1.54	1.90
ICE BofA 1-5 year US Treasury & Agency Index	0.24	0.43	2.71	4.31	1.52	1.64	1.70

年次トータルリターン(%)

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	年初来
LMBS	6.84	1.76	1.46	4.15	1.81	-0.77	-3.20	5.89	5.10	7.13	1.47
Bloomberg US Aggregate Bond Index	2.65	3.54	0.01	8.72	7.51	-1.54	-13.01	5.53	1.25	7.30	0.62
ICE BofA 1-5 year US Treasury & Agency Index	1.08	0.66	1.54	4.18	4.22	-1.09	-5.25	4.31	3.44	5.73	0.43

3年間の統計

	標準偏差(%)	アルファ	ベータ	シャープレシオ	相関関係
LMBS	2.66	1.44	1.13	0.42	0.92
ICE BofA 1-5 year US Treasury & Agency Index	2.18	—	1.00	-0.14	1.00

モーニングスター総合評価

★★★★★

短期政府部門のカテゴリーに属する71ファンドのうち、当ファンドはリスク調整後リターンに基づき、5つ星/71ファンド（3年）、5つ星/63ファンド（5年）、5つ星/55ファンド（10年）と評価されました。§

引用されているパフォーマンスデータは過去のものです。過去の運用実績は将来の運用実績を保証するものではなく、現在の運用実績が提示された運用実績よりも高い場合も低い場合もあります。投資収益と元本価値は変動するものであり、株式が売却または償還された場合、当初のコストよりも価値が高くなることも低くなることもあります。直近の月末までのパフォーマンス情報は *www.ftportfolios.jp* から確認できます。

^投資アドバイザーは一定の資産水準においてファンドの投資運用報酬を減額する報酬ブレイクポイントを導入しています。詳細につきましてはファンドの追加情報説明書をご覧下さい。ファンドの追加情報説明書は www.ftportfolios.com から入手できます。

† 30日SEC利回りは、直近の30日間に獲得した1株当たりの純投資利益を、期末日の1株当たりの最大公開価格で割って算出されます。

*基準価額（NAV）リターンは、ファンドの純資産（資産から負債を差し引いたもの）をファンドの発行済み株数で割った基準価額（NAV）に基づいています。市場価格リターンはファンドの基準価額（NAV）リターンが算出された時点の全米最良気配値「NBBO」の中間値を使用して決定されます。リターンは1年未満の期間を除き、平均年間トータルリターンです。

**掲載されている各指数のパフォーマンス情報は、例示のみを目的としており、実際のファンドのパフォーマンスを表すものではありません。指数のパフォーマンスは運用手数料や仲介費用がかからず、表示されたパフォーマンスから、そのような手数料や費用は差し引かれていません。指数は運用されていないため、投資家は指数に直接投資することはできません。

§モーニングスター・レーティング™・フォー・ファンド（星評価）は、運用商品(投資信託、変額年金および変額生命保険のサブ口座、上場投資信託、クローズドエンド型ファンド、セパレート口座を含む)で、3年以上の履歴を持つファンドに対して算出されます。上場投資信託(ETF)とオープンエンド型ミューチュアルファンドは、比較目的で単一の集団と見なされます。これは、管理商品の月間超過パフォーマンスの変動を考慮しモーニングスターのリスク調整後、下方変動に重点を置き、一貫したパフォーマンスに報いる指標に基づいて計算されます。モーニングスター・レーティングには、販売負荷の調整は含まれていません。各商品カテゴリーの上位10%の商品には5つ星、次の22.5%には4つ星、次の35%には3つ星、次の22.5%には2つ星、下位10%には1つ星が与えられます。管理対象製品のモーニングスター総合評価は、3年、5年、10年(該当する場合)のモーニングスター評価指標に関連付けられたパフォーマンス数値の加重平均から導き出されます。加重は、36-59ヶ月の合計リターンは3年評価で100%、60-119ヶ月の合計リターンは5年評価で60%、3年評価で40%、120か月以上のトータルリターンは10年評価で50%、5年評価で30%、3年評価で20%です。10年間の総合星評価式は、10年間の評価が重視されているように見えますが、実際には、3つの評価期間全てに含まれるため、直近3年間の評価が最も大きな影響を与えています。©2026年 モーニングスター株式会社全著作権所有。ここに含まれるモーニングスター評価の記載情報は：(1)モーニングスターに帰属します。(2) 無断複製および配布を禁止します。(3) 正確性、完全性、適時性の保証はありません。モーニングスターおよびそのコンテンツプロバイダーは、本情報の使用から生じるいかなる損害または損失についても責任を負いません。過去のパフォーマンスは、将来の結果を保証するものではありません。

本資料の正文は運用会社作成の英文資料です。記載内容は英文が優先しますので、必ずご確認ください。

ファーストトラスト ローデュレーション オポチュニティーズETF

2026/6/30

» ポートフォリオ情報

保有証券数	1239
加重平均実効デュレーション (ロングポジション) [1]	5.70 年
加重平均実効デュレーション (ショートポジション)[1]	-3.19 年
加重平均実効ネット・デュレーション[1]	2.51 年

» ファンドの構成(%)

Agency CMOs	39.09
Agency Pass-Throughs	23.83
U.S. Treasuries	10.73
TBAs - Long	8.75
Agency CMBS	7.77
Non-Agency RMBS	6.06
Non-Agency CMBS	2.16
ABS	1.23
Cash & Cash Equivalents	0.23
Agency Debt	0.08

» 上位保有10証券(%)

Fannie Mae or Freddie Mac TBA, 5.50%, due 03/01/2056	3.31
Freddie Mac FR SL2533, 4%, due 05/01/2049	1.66
Freddiemac Strip Series 459, Class GH, 4.80%, due 07/25/2031	1.52
GNMA TBA, 4.50%, due 04/01/2056	1.12
Fannie Mae FN FM3003, 4%, due 05/01/2049	1.00
Freddiemac Strip Series 459, Class GE, 4.65%, due 07/25/2031	1.00
Fannie Mae or Freddie Mac TBA, 5.50%, due 03/01/2056	0.94
Freddie Mac FR SL1523, 3.50%, due 07/01/2050	0.92
U.S. Treasury Inflation Indexed Note, 0.125%, due 04/15/2027	0.91
Fannie Mae FN FM2972, 4%, due 12/01/2044	0.87

» デリバティブの使用率(%)

債券先物 - ネット	-25.63%
債券先物オプション - ネット	-0.23%
金利先物オプション - ネット	-0.04%
TBAs - ショート	-3.20%

» 信用格付別(%)[2]

現金および現金同等物	0.23
米国債	10.73
エージェンシー	79.38
AAA	8.06
AA+	0.35
AA	0.19
AA-	0.15
A+	0.11
A	0.15
A-	0.13
BBB	0.08
BB-	0.01
CCC+	0.04
NR	0.39

[1]金利変動に対する証券の感応度を示す尺度で、利回りが変化した場合の証券価格の変化を反映します。

[2]格付は、S&Pグローバル・レーティングス、ムーディーズ・インベスターズ・サービス、フィッチ・レーティングス、DBRS、クロール・ボンド・レーティング・エージェンシーまたは同等の格付けのNRSROを含む、全米で認知されている統計格付機関（NRSRO）によるものです。1つの証券が複数のNRSROによって格付けされ、格付けが同等でない場合は、最も高い格付けが使用されます。信用格付とは、全米で認められた統計格付機関（NRSRO）が提供する、債務に関する発行体の信用力の評価です。レーティングは、一般的にAAA（最高）からD（最低）の範囲のスケールで測定されます。投資適格とは、長期信用格付けがBBB-以上の発行体と定義されています。「NR」は評価がないことを示します。示されている信用格付は、ファンドの原証券の発行者の信用力に関するものであり、ファンドまたはその株式に関するものではありません。米国債、米国エージェンシー債、および米国政府機関の住宅ローン担保証券は、「エージェンシー」に表示されます。格付は変更されることがあります。

投資を行う前に、ファンドの投資目的、リスク、手数料と費用を慎重に検討する必要があります。ファンドに関する情報やその他の情報が記載されている目論見書を入手するには、*First Trust Japan*（*www.ftportfolios.jp*）にお問い合わせください。目論見書は、投資を行う前によくお読み下さい。

リスクに関する考慮事項

ファンドへの投資において、損失が発生する可能性があります。ファンドへの投資は銀行預貯金ではなく保険や保証はありません。ファンドの目的が達成される保証はありません。投資家が流通市場で株式を売買する場合、通常の仲介手数料がかかる場合があります。ファンドのリスクに関する詳細については、各ファンドの目論見書をご参照ください。以下のリスク要因の順序は、特定のリスク要因の重要性の順位を示すものではありません。

資産担保証券は債務証券の一種であり、一般的に米国政府の全面的な信頼と信用に裏打ちされておらず、特に景気後退期には、原資産またはローンのデフォルトリスクにさらされます。

投資信託とは異なり、ファンドの株式は、許可された参加者のみが非常に大規模な設定/償還単位でファンドから直接償還できます。ファンドの権限を与えられた参加者が設定/償還注文を進めることができず、他の参加者が設定または償還に踏み切らない場合、ファンドの株式はファンドの基準価額に対してプレミアムまたは割引で取引され、上場廃止に直面し、ビッド/アスクスプレッドが拡大する可能性があります。

金利低下局面において、発行体が高利回りの債券をコールした場合、ファンドは低金利での資金運用を余儀なくされ、ファンドの収入が減少する可能性があります。

設定と償還の全部または一部が、現物ではなく現金で行われるファンドは、税効率が低くなる可能性があります。

ファンドは、取引相手がその義務を履行しないリスクにさらされる可能性があり、その結果、ファンドに重大な財務的損失が生じる可能性があります。

債務証券の発行者、またはその他の債務者が配当、利息、および/または元本の支払期日を守れない、または行う意思がない場合、その結果、証券の価値が下落する可能性があります。

信用格付機関が付与する格付は、当該企業の意見であり、信用力の絶対的な基準ではなく、有価証券のリスクを評価するものではありません。信用格付けを決定するプロセスにおける欠点や非効率性は、ファンドが保有する証券の信用格付けや、その認識または実際の信用リスクに悪影響を及ぼす可能性があります。

現在の市況リスクとは、特定の投資、またはファンドの株式全般が、現在の市況により価値が下落するリスクです。例えば、政府の財政政策や規制政策の変更、銀行や不動産市場の混乱、実際の国際的武力紛争や敵対行為の脅威、公共衛生上の危機など、他の重要な出来事がファンドの投資価値に重大な影響を与える可能性があります。

ファンドは、サイバーセキュリティの侵害による運用リスクの影響を受けやすいです。このような事象により、ファンドが規制上の罰則、風評被害、是正措置に伴う追加のコンプライアンス費用、および/または財務上の損失を被る可能性があります。

債券への投資は、保有者に発行体の信用リスクを負わせ、債券の価値は一般的に金利の変動に反比例して変動します。さらに、債券は通常、証券取引所で取引されないため、流動性が低く、評価が難しくなります。

デリバティブ商品の使用には、カウンターパーティリスク、バリュエーションリスク、ボラティリティリスク、流動性リスクなど、証券に直接投資するリスクとは異なる、場合によってはより大きなリスクが伴います。さらに、原資産の価格または価値、指数またはレートの不利な動きによる損失は、デリバティブの特定の特徴によって拡大される場合があります。

エクステンション・リスクとは、金利が上昇すると、発行者（またはその他の義務を負う当事者）による特定の債務の返済が予想よりも遅くなり、これらの債務証券の価値が下落するリスクです。金利の上昇は、債券のデュレーションを長期化する傾向があり、その市場価値は金利変動に対してより敏感になります。

変動利付証券は、証券のクーポンレートが参照レートの水準に基づいて変動するように構成されています。その結果、変動金利証券のクーポンは、金利が下がると一般的に減少し、ファンドは証券から受け取る収入が減少します。変動金利証券のクーポンレートは、証券の条件に従って定期的にリセットされます。その結果、金利が上昇する環境下では、利率のリセット頻度が低い変動金利証券は、市場金利の変動に遅れをとる可能性があります。

先物契約のポジションのリスクは、ファンドが預ける必要のある証拠金の比較的低いレベルと比較して非常に大きい場合があり、先物契約の比較的小さな価格変動は、証拠金の預金のサイズに比べて即時に多額の損失をもたらす可能性があります。

ハイイールド債、または「ジャンク債」は、格付けの高い証券よりも流動性が低く、市場の変動や損失リスクが大きいため、投機的と考えられています。

ファンドの収益は、金利の低下やポートフォリオにデフォルトが発生した場合に減少する可能性があります。

ファンドは、ファンドの取引活動、規模、変動に大きな影響を与える可能性のある1つ以上の指数またはモデルの構成銘柄となる場合があります。

インフレの進行によりファンドの資産と分配金の現在価値が低下する可能性があります。

次ページにて追加リスクをご覧ください。

ファーストトラスト ローデュレーション オポチュニティーズETF

リスクに関する考慮事項（続き）

利息のみの証券の利回りは、基礎となる住宅ローン資産の元本支払い率に非常に敏感であり、急速な支払い率は、これらの証券からのファンドの満期までの利回りに悪影響を与える可能性があります。逆に、元本限定証券は、期限前返済が予想よりも遅い場合、価値が下がる傾向があります。

金利リスクとは、金利の上昇により、ファンドのポートフォリオ内の債務証券の価値が下がるリスクです。金利リスクは、一般的に短期債務証券の方が低く、長期債務証券の方が高くなります。

インバース変動金利証券は、ベンチマークレートに反比例して変動するクーポンレートを持つ債務商品の一種です。インバースフローターは効果的なレバレッジを生み出し、通常、インバースフローターの基礎となる固定金利の地方債よりも変動が高く、リスクが大きくなります。

ファンドがロンドン銀行間取引金利（LIBOR）を参照金利として使用する変動金利または変動金利の債務に投資する限り、LIBORリスクの影響を受けます。LIBORは参照レートとして利用できなくなりました。また、担保付翌日物調達金利（SOFR）を含む代替参照レートがLIBORと類似、LIBORと同額または経済的同等性を生み出すという保証はありません。LIBORの利用不可または代替された場合、特定のファンド投資価値、流動性、またはリターンに影響を与える可能性があり、ポジションの決済や新規取引の開始に関連した費用が発生する可能性があります。LIBORからの移行がファンドまたはファンドが投資する特定の商品に及ぼす潜在的な影響の予測は難しく、ファンドに損失をもたらす可能性があります。

特定のファンド投資は、転売、店頭取引、または取引量に限定がある場合、または活発な取引市場が不足している場合があります。流動性の低い証券は割引価格で取引される場合があり、市場価値の大幅な変動の影響を受ける可能性があります。

アクティブ運用ポートフォリオのポートフォリオマネージャーは、投資手法とリスク分析を適用しますが、望ましい結果をもたらさない可能性があります。

市場リスクとは、特定の証券、またはファンドの株式全般が値下がりするリスクです。証券は、一般的な経済状況、政治情勢、規制または市場の動向、金利の変化、証券価格の動向などの要因によって引き起こされる市場変動の影響を受けます。その結果、ファンドの株式の価値が下落したり、他の投資を下回ったりする可能性があります。さらに、戦争、テロ行為、感染症の蔓延、その他の公衆衛生問題、不況、自然災害、その他の事象など、地域的、地方的、または世界的な出来事は、ファンドに重大な悪影響を与える可能性があります。

ファンドが直面する市場取引リスクには、マーケットメイカーの数が限られているためにファンド株式の活発な市場が欠如している可能性など多くのものがあります。マーケットメーカーや公認参加者が市場ストレス時に役割の縮小や退去することにより、ファンドのポートフォリオ証券の原資産価格とファンドの市場価格の関係を維持するアービトラージ プロセス、すなわち裁定プロセスの有効性が阻害される可能性があります。

住宅ローン関連の証券は、不動産の価値に影響を与える不利な経済的、政治的、または規制上の事象の影響を受けやすくなります。

非政府発行体が提供する有価証券の支払いについて、政府機関による保証はないため、発行体の信用リスクにさらされます。非政府機関系証券は「店頭」で取引されることが多く、市場が限られているため、評価が難しくなる可能性があります。

ファンド、およびファンドのアドバイザーは、管理や手続きを通じて様々な運用リスクの低減を図ることがありますが、そのようなリスクから完全に保護することは不可能です。また、ファンドは、カストディを含むさまざまなサービスについて第三者に依存しており、これらのサービスに関連する遅延や失敗は、ファンドの目的達成能力に影響を与える可能性があります。

オプションの価格は変動が激しく、オプションの効果的な使用は、ファンドが望ましいと思われる時間にオプションのポジションを終了する能力にかかっています。ファンドが特定の時期、または許容可能な価格で取引を終了できるという保証はありません。

ポートフォリオの回転率が高いと、取引コストが高くなり、株主の税負担が大きくなる可能性があります。

ファンドの株式の市場価格は、一般的にファンドの基準価額（NAV）の変化、および取引所での株式の相対的な供給と需要に応じて変動し、ファンドの投資アドバイザーは、株式がNAVを下回るか、NAVで取引されるか、NAVを上回って取引されるかを予測することはできません。

期限前返済リスクとは、債務証券の発行者が予定された満期日より前に元本を返済するリスクです。前払いを認める債務証券は、ファンドが前払いの収益を低金利で再投資する必要がある場合があるため、金利が下がる期間中の利益の可能性が低くなる可能性があります。

ファンドは、制限付き証券を短期間で売却できない場合、または現在価値を下回る価格でのみ売却できない場合があります。

空売りは特別なリスクを生み出し、その結果として利益または損失の増加とリターンの変動につながる可能性があります。空売りの損失は、空売りされた証券の価値の上昇から発生するため、そのような損失は理論的に無制限です。

単一の資産クラス、国、地域、業界、セクターへのエクスポージャーが大きいファンドは、広く分散されたファンドよりも、経済的または政治的な不利な展開の影響をより受ける可能性があります。

取引所での取引は、市場の状況やその他の理由により停止される場合があります。ファンドが取引所上場を維持するための要件が今後も引き続き満たされ変わらないという保証はありません。

連邦政府機関および米国政府後援機関によって発行または保証された証券は、米国政府の全面的な信頼と信用に裏打ちされている場合とそうでない場合があります。

ファンドが保有する証券やその他の資産は、市場相場以外の要素に基づいて評価される可能性があります。これは、資産または証券が中央集権的な取引所で取引されないため、または市場の混乱や流動性の低下時に発生する可能性があります。「公正評価」資産や有価証券など、市場相場以外の手法を使用して評価されたポートフォリオ保有は、市場相場が使用された場合よりも、日によって評価に大きな変動が生じる可能性があります。ファンドがいつでも設定された価値で売却またはポートフォリオポジションをクローズできるという保証はありません。

発行日未定（以下「未定」）、遅延引渡し、またはフォワード・コミットメント・ベースでの証券の購入は、投資レバレッジを生じさせ、ファンドのボラティリティとデフォルトへのエクスポージャーが高まる可能性があります。

ゼロクーポン債は、現在ベースで利息を支払わず、ボラティリティが高く、キャッシュフローを生み出さない可能性があります。ファンドは、税法で義務付けられている株主に分配するための現金を生み出すために、不適切な時期にゼロクーポン債証券を清算することを余儀なくされる可能性があります。

First Trust Advisors L.P.は、当ファンドのアドバイザーです。First Trust Advisors L.P.は、当ファンドの販売代理店であるFirst Trust Portfolios L.P.の関連会社です。ファースト・トラスト・ジャパンは、当ファンドの副販売会社です。

記載されている情報は、特定の人物に対する投資の推奨や助言を意図するものではありません。また、本資料は暗黙的または明示的に投資戦略を推奨または示唆するものではなく、読者に投資戦略に関する決断を下したり、ファンドの現在または将来の価値や価格に関する意見を提供するものではありません。ファーストトラストは、投資家に関する知識はなく、いかなる情報も提供されていません。金融専門家は、特定の投資が顧客に適しているかどうかを判断する必要があります。

定義

標準偏差は、価格変動性（リスク）の尺度です。アルファは、投資がベンチマークと比較してリスク調整済みベースでどれだけアウトパフォームまたはアンダーパフォームするかを示す指標です。ベータは、市場に対する価格変動の尺度です。シャープレシオは、ボラティリティの単位あたりの超過報酬の尺度です。相関関係は、パフォーマンスの類似性の尺度です。 ICE BofA 1-5 year US Treasury & Agency Index は、米ドル建ての米国債および非劣後型米国エージェンシー債のパフォーマンスを測定するものです。ブルームバーグ米国総合債券指数は、米国債、国債、社債、MBS、ABS、CMBSなど、投資適格の米ドル建て固定金利課税債券市場を対象としています。

LMBS

As of 30/6/26

First Trust Low Duration Opportunities ETF

» Fund Objective

This exchange-traded fund seeks to generate current income with a secondary objective of capital appreciation.

» Fund Facts

Fund Ticker	LMBS
ISIN	US33739Q2003
CUSIP	33739Q200
Intraday NAV	LMBSIV
Fund Inception Date	4/11/14
Total Expense Ratio^	0.66%
30-Day SEC Yield†	4.05%
Primary Listing	Nasdaq

» Fund Description

» The First Trust Low Duration Opportunities ETF is an actively managed exchange-traded fund.

» Under normal conditions, the fund will seek to achieve its investment objectives by investing at least 60% of its net assets (including investment borrowings) in investment grade, mortgage-related debt securities and other mortgage-related instruments tied to residential and commercial mortgages.

» An investment in the fund may offer the following advantages:

- Attractive level of current income with an effective duration target of 3 years or less;
- Limited price sensitivity due to a focus on managing and limiting the average portfolio duration;
- High asset credit quality with at least 60% of assets in the government-sponsored mortgage sector and less expected price sensitivity to the credit cycle;
- Large and liquid asset class effectively accommodates efficient portfolio rebalancing.

» Fund Advisor

» The portfolio is selected and managed by First Trust Advisors L.P.

- The portfolio management team uses top-down research focused on the global economy, macro trends in the fixed income market as well as ongoing valuations and trends of core mortgage-backed securities sectors.
- The portfolio managers believe thorough and continuous monitoring of overall housing market fundamentals, quantitative portfolio modeling, and the ability to rebalance the portfolio to stay within the fund's three-year duration target is critical to achieving higher risk-adjusted returns.

» Daily investment decisions are made by:

- Jim Snyder, Portfolio Manager, Senior Vice President, Government & Securitized Products Group
- Jeremiah Charles, Portfolio Manager, Senior Vice President, Government & Securitized Products Group
- Owen Aronson, Portfolio Manager, Senior Investment Analyst, Government & Securitized Products Group

» Performance Summary (%)

	3 Month	YTD	1 Year	3 Year	5 Year	10 Year	Since Fund Inception
Fund Performance*							
Net Asset Value (NAV)	0.83	1.47	5.06	5.76	3.07	2.68	3.01
Market Price	0.97	1.63	5.25	5.87	3.12	2.68	3.03
Index Performance**							
Bloomberg US Aggregate Bond Index	0.67	0.62	3.79	4.16	0.08	1.54	1.90
ICE BofA 1-5 year US Treasury & Agency Index	0.24	0.43	2.71	4.31	1.52	1.64	1.70

» Calendar Year Total Returns (%)

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	YTD
LMBS	6.84	1.76	1.46	4.15	1.81	-0.77	-3.20	5.89	5.10	7.13	1.47
Bloomberg US Aggregate Bond Index	2.65	3.54	0.01	8.72	7.51	-1.54	-13.01	5.53	1.25	7.30	0.62
ICE BofA 1-5 year US Treasury & Agency Index	1.08	0.66	1.54	4.18	4.22	-1.09	-5.25	4.31	3.44	5.73	0.43

» 3-Year Statistics

	Standard Deviation (%)	Alpha	Beta	Sharpe Ratio	Correlation
LMBS	2.66	1.44	1.13	0.42	0.92
ICE BofA 1-5 year US Treasury & Agency Index	2.18	—	1.00	-0.14	1.00

Overall Morningstar Rating™

★★★★★

Among 71 funds in the Short Government category. This fund was rated 5 stars/71 funds (3 years), 5 stars/63 funds (5 years), 5 stars/55 funds (10 years) based on risk adjusted returns.§

Performance data quoted represents past performance. Past performance is not a guarantee of future results and current performance may be higher or lower than performance quoted. Investment returns and principal value will fluctuate and shares when sold or redeemed, may be worth more or less than their original cost. You can obtain performance information which is current through the most recent month-end by visiting www.ftportfolios.jp.

^The Investment Advisor has implemented fee breakpoints, which reduce the fund's investment management fee at certain assets levels. Please see the fund's Statement of Additional Information for full details. You can obtain the fund's Statement of Additional Information by visiting www.ftportfolios.jp.

†30-day SEC yield is calculated by dividing the net investment income per share earned during the most recent 30-day period by the maximum offering price per share on the last day of the period.

***NAV** returns are based on the fund's net asset value which represents the fund's net assets (assets less liabilities) divided by the fund's outstanding shares. **Market Price** returns are determined by using the midpoint of the national best bid offer price ("NBBO") as of the time that the fund's NAV is calculated. Returns are average annualized total returns, except those for periods of less than one year, which are cumulative.

**Performance information for each listed index is for illustrative purposes only and does not represent actual fund performance. Indexes do not charge management fees or brokerage expenses, and no such fees or expenses were deducted from the performance shown. Indexes are unmanaged and an investor cannot invest directly in an index.

§The Morningstar Rating™ for funds, or "star rating", is calculated for managed products (including mutual funds, variable annuity and variable life subaccounts, exchange-traded funds, closed-end funds, and separate accounts) with at least a three-year history. Exchange-traded funds and open-ended mutual funds are considered a single population for comparative purposes. It is calculated based on a Morningstar Risk-Adjusted Return measure that accounts for variation in a managed product's monthly excess performance, placing more emphasis on downward variations and rewarding consistent performance. The Morningstar Rating does not include any adjustment for sales loads. The top 10% of products in each product category receive 5 stars, the next 22.5% receive 4 stars, the next 35% receive 3 stars, the next 22.5% receive 2 stars, and the bottom 10% receive 1 star. The Overall Morningstar Rating for a managed product is derived from a weighted average of the performance figures associated with its three-, five-, and 10-year (if applicable) Morningstar Rating metrics. The weights are: 100% three-year rating for 36-59 months of total returns, 60% five-year rating/40% three-year rating for 60-119 months of total returns, and 50% 10-year rating/30% five-year rating/20% three-year rating for 120 or more months of total returns. While the 10-year overall star rating formula seems to give the most weight to the 10-year period, the most recent three-year period actually has the greatest impact because it is included in all three rating periods. ©2026 Morningstar, Inc. All Rights Reserved. The Morningstar Rating™ information contained herein: (1) is proprietary to Morningstar; (2) may not be copied or distributed; and (3) is not warranted to be accurate, complete or timely. Neither Morningstar nor its content providers are responsible for any damages or losses arising from any use of this information. Past performance is no guarantee of future results.

First Trust Low Duration Opportunities ETF

As of 30/6/26

Portfolio Information

Number Of Holdings	1239
Weighted Average Effective Duration (Long Positions)[1]	5.70 Years
Weighted Average Effective Duration (Short Positions)[1]	-3.19 Years
Weighted Average Effective Net Duration[1]	2.51 Years

Fund Composition (%)

Agency CMOs	39.09
Agency Pass-Throughs	23.83
U.S. Treasuries	10.73
TBAs - Long	8.75
Agency CMBS	7.77
Non-Agency RMBS	6.06
Non-Agency CMBS	2.16
ABS	1.23
Cash & Cash Equivalents	0.23
Agency Debt	0.08

Top Holdings (%)

Fannie Mae or Freddie Mac TBA, 5.50%, due 03/01/2056	3.31
Freddie Mac FR SL2533, 4%, due 05/01/2049	1.66
Freddiemac Strip Series 459, Class GH, 4.80%, due 07/25/2031	1.52
GNMA TBA, 4.50%, due 04/01/2056	1.12
Fannie Mae FN FM3003, 4%, due 05/01/2049	1.00
Freddiemac Strip Series 459, Class GE, 4.65%, due 07/25/2031	1.00
Fannie Mae or Freddie Mac TBA, 5.50%, due 03/01/2056	0.94
Freddie Mac FR SL1523, 3.50%, due 07/01/2050	0.92
U.S. Treasury Inflation Indexed Note, 0.125%, due 04/15/2027	0.91
Fannie Mae FN FM2972, 4%, due 12/01/2044	0.87

Credit Quality (%)[2]

Cash & Cash Equivalents	0.23
U.S. Treasuries	10.73
Agency	79.38
AAA	8.06
AA+	0.35
AA	0.19
AA-	0.15
A+	0.11
A	0.15
A-	0.13
BBB	0.08
BB-	0.01
CCC+	0.04
NR	0.39

Derivatives Usage (%)

Bond Futures - Net	-25.63%
Options on Bond Futures - Net	-0.23%
Options on Interest Rate Futures - Net	-0.04%
TBAs - Short	-3.20%

[1]A measure of a security's sensitivity to interest rate changes that reflects the change in a security's price given a change in yield.

[2]The ratings are by one or more nationally recognized statistical rating organizations (NRSROs), including S&P Global Ratings, Moody's Investors Service, Inc., Fitch Ratings, DBRS, Inc., Kroll Bond Rating Agency, Inc. or a comparably rated NRSRO. For situations in which a security is rated by more than one NRSRO and the ratings are not equivalent, the highest rating is used. A credit rating is an assessment provided by a NRSRO, of the creditworthiness of an issuer with respect to debt obligations. Ratings are measured on a scale that generally ranges from AAA (highest) to D (lowest). Investment grade is defined as those issuers that have a long-term credit rating of BBB- or higher. "NR" indicates no rating. The credit ratings shown relate to the creditworthiness of the issuers of the underlying securities in the fund, and not to the fund or its shares. U.S. Agency and U.S. Agency mortgage-backed securities appear under "Agency". Credit ratings are subject to change.

You should consider the fund's investment objectives, risks, and charges and expenses carefully before investing. Contact First Trust Japan Co., Ltd. at www.ftportfolios.jp to obtain a prospectus which contains this and other information about the fund. The prospectus should be read carefully before investing.

Risk Considerations

You could lose money by investing in a fund. An investment in a fund is not a deposit of a bank and is not insured or guaranteed. There can be no assurance that a fund's objective(s) will be achieved. Investors buying or selling shares on the secondary market may incur customary brokerage commissions. Please refer to each fund's prospectus and Statement of Additional Information for additional details on a fund's risks. The order of the below risk factors does not indicate the significance of any particular risk factor.

Asset-backed securities are a type of debt security and are generally not backed by the full faith and credit of the U.S. government and are subject to the risk of default on the underlying asset or loan, particularly during periods of economic downturn.

Unlike mutual funds, shares of the fund may only be redeemed directly from a fund by authorized participants in very large creation/redemption units. If a fund's authorized participants are unable to proceed with creation/redemption orders and no other authorized participant is able to step forward to create or redeem, fund shares may trade at a premium or discount to a fund's net asset value and possibly face delisting and the bid/ask spread may widen.

During periods of falling interest rates if an issuer calls higher-yielding debt instruments, a fund may be forced to invest the proceeds at lower interest rates, likely resulting in a decline in the fund's income.

A fund that effects all or a portion of its creations and redemptions for cash rather than in-kind may be less tax-efficient.

A fund may be subject to the risk that a counterparty will not fulfill its obligations which may result in significant financial loss to a fund.

An issuer or other obligated party of a debt security may be unable or unwilling to make dividend, interest and/or principal payments when due and the value of a security may decline as a result.

Ratings assigned by a credit rating agency are opinions of such entities, not absolute standards of credit quality and they do not evaluate risks of securities. Any shortcomings or inefficiencies in the process of determining credit ratings may adversely affect the credit ratings of the securities held by a fund and their perceived or actual credit risk.

Current market conditions risk is the risk that a particular investment, or shares of the fund in general, may fall in value due to current market conditions. For example, changes in governmental fiscal and regulatory policies, disruptions to banking and real estate markets, actual and threatened international armed conflicts and hostilities, and public health crises, among other significant events, could have a material impact on the value of the fund's investments.

A fund is susceptible to operational risks through breaches in cyber security. Such events could cause a fund to incur regulatory penalties, reputational damage, additional compliance costs associated with corrective measures and/or financial loss.

Investments in debt securities subject the holder to the credit risk of the issuer and the value of debt securities will generally change inversely with changes in interest rates. In addition, debt securities generally do not trade on a securities exchange making them less liquid and more difficult to value.

The use of derivatives instruments involves different and possibly greater risks than investing directly in securities including counterparty risk, valuation risk, volatility risk, and liquidity risk. Further, losses because of adverse movements in the price or value of the underlying asset, index or rate may be magnified by certain features of the derivatives.

Extension risk is the risk that, when interest rates rise, certain obligations will be paid off by the issuer (or other obligated party) more slowly than anticipated, causing the value of these debt securities to fall. Rising interest rates tend to extend the duration of debt securities, making their market value more sensitive to changes in interest rates.

Floating rate securities are structured so that the security's coupon rate fluctuates based upon the level of a reference rate. As a result, the coupon on floating rate securities will generally decline in a falling interest rate environment, causing a fund to experience a reduction in the income it receives from the security. A floating rate security's coupon rate resets periodically according to the terms of the security. Consequently, in a rising interest rate environment, floating rate securities with coupon rates that reset infrequently may lag behind the changes in market interest rates.

The risk of a position in a futures contract may be very large compared to the relatively low level of margin a fund is required to deposit and a relatively small price movement in a futures contract may result in immediate and substantial loss relative to the size of margin deposit.

High yield securities, or "junk" bonds, are less liquid and are subject to greater market fluctuations and risk of loss than securities with higher ratings, and therefore, are considered to be highly speculative.

A fund's income may decline when interest rates fall or if there are defaults in its portfolio.

Please see additional risks on the following page.

Risk Considerations Continued

A fund may be a constituent of one or more indices or models which could greatly affect a fund's trading activity, size and volatility.

As inflation increases, the present value of a fund's assets and distributions may decline.

The yield on an interest-only security is extremely sensitive to the rate of principal payments on the underlying mortgage assets and a rapid payment rate may have an adverse effect on a fund's yield to maturity from these securities. Conversely, principal-only securities tend to decline in value if prepayments are slower than anticipated.

Interest rate risk is the risk that the value of the debt securities in a fund's portfolio will decline because of rising interest rates. Interest rate risk is generally lower for shorter term debt securities and higher for longer-term debt securities.

Inverse floating rate securities are a type of debt instrument that has a coupon rate that varies inversely with a benchmark rate. Inverse floaters create effective leverage and will typically be more volatile and involve greater risk than the fixed rate municipal bonds underlying the inverse floaters.

To the extent a fund invests in floating or variable rate obligations that use the London Interbank Offered Rate ("LIBOR") as a reference interest rate, it is subject to LIBOR Risk. LIBOR has ceased to be made available as a reference rate and there is no assurance that any alternative reference rate, including the Secured Overnight Financing Rate ("SOFR"), will be similar to or produce the same value or economic equivalence as LIBOR. The unavailability or replacement of LIBOR may affect the value, liquidity or return on certain fund investments and may result in costs incurred in connection with closing out positions and entering into new trades. Any potential effects of the transition away from LIBOR on a fund or on certain instruments in which a fund invests is difficult to predict and could result in losses to the fund.

Certain fund investments may be subject to restrictions on resale, trade over-the-counter or in limited volume, or lack an active trading market. Illiquid securities may trade at a discount and may be subject to wide fluctuations in market value.

The portfolio managers of an actively managed portfolio will apply investment techniques and risk analyses that may not have the desired result.

Market risk is the risk that a particular security, or shares of a fund in general may fall in value. Securities are subject to market fluctuations caused by such factors as general economic conditions, political events, regulatory or market developments, changes in interest rates and perceived trends in securities prices. Shares of a fund could decline in value or underperform other investments as a result. In addition, local, regional or global events such as war, acts of terrorism, spread of infectious disease or other public health issues, recessions, natural disasters or other events could have significant negative impact on a fund.

A fund faces numerous market trading risks, including the potential lack of an active market for fund shares due to a limited number of market makers. Decisions by market makers or authorized participants to reduce their role or step away in times of market stress could inhibit the effectiveness of the arbitrage process in maintaining the relationship between the underlying values of a fund's portfolio securities and a fund's market price.

Mortgage-related securities are more susceptible to adverse economic, political or regulatory events that affect the value of real estate.

There are no government or agency guarantees of payments in securities offered by non- government issuers, therefore they are subject to the credit risk of the issuer. Non-agency securities often trade "over-the-counter" and there may be a limited market for them making them difficult to value.

A fund and a fund's advisor may seek to reduce various operational risks through controls and procedures, but it is not possible to completely protect against such risks. The fund also relies on third parties for a range of services, including custody, and any delay or failure related to those services may affect the fund's ability to meet its objective.

The prices of options are volatile and the effective use of options depends on a fund's ability to terminate option positions at times deemed desirable to do so. There is no assurance that a fund will be able to effect closing transactions at any particular time or at an acceptable price.

High portfolio turnover may result in higher levels of transaction costs and may generate greater tax liabilities for shareholders.

The market price of a fund's shares will generally fluctuate in accordance with changes in the fund's net asset value ("NAV") as well as the relative supply of and demand for shares on the exchange, and a fund's investment advisor cannot predict whether shares will trade below, at or above their NAV.

Prepayment risk is the risk that the issuer of a debt security will repay principal prior to the scheduled maturity date. Debt securities allowing prepayment may offer less potential for gains during a period of declining interest rates, as a fund may be required to reinvest the proceeds of any prepayment at lower interest rates.

A fund may be unable to sell a restricted security on short notice or only sell them at a price below current value.

Short selling creates special risks which could result in increased gains or losses and volatility of returns. Because losses on short sales arise from increases in the value of the security sold short, such losses are theoretically unlimited.

A fund with significant exposure to a single asset class, country, region, industry, or sector may be more affected by an adverse economic or political development than a broadly diversified fund.

Trading on an exchange may be halted due to market conditions or other reasons. There can be no assurance that a fund's requirements to maintain the exchange listing will continue to be met or be unchanged.

Securities issued or guaranteed by federal agencies and U.S. government sponsored instrumentalities may or may not be backed by the full faith and credit of the U.S. government.

A fund may hold securities or other assets that may be valued on the basis of factors other than market quotations. This may occur because the asset or security does not trade on a centralized exchange, or in times of market turmoil or reduced liquidity. Portfolio holdings that are valued using techniques other than market quotations, including "fair valued" assets or securities, may be subject to greater fluctuation in their valuations from one day to the next than if market quotations were used. There is no assurance that a fund could sell or close out a portfolio position for the value established for it at any time.

The purchase of securities on a when-issued, TBA ("to be announced"), delayed delivery or forward commitment basis may give rise to investment leverage and increase a fund's volatility and exposure to default.

Zero coupon bonds do not pay interest on a current basis, they may be highly volatile, and they do not produce cash flow. A fund could be forced to liquidate zero coupon bond securities at an inopportune time to generate cash to distribute to shareholders as required by tax laws.

First Trust Advisors L.P. is the adviser to the fund. First Trust Advisors L.P. is an affiliate of First Trust Portfolios L.P., the fund's distributor. First Trust Japan Co., Ltd. is the fund's sub-distributor.

The information presented is not intended to constitute an investment recommendation for, or advice to, any specific person. Nor does the document implicitly or explicitly recommend or suggest an investment strategy, reach conclusions in relation to an investment strategy for the reader or provide an opinion as to the present or future value or price of any fund. First Trust has no knowledge of and has not been provided any information regarding any investor. Financial professionals must determine whether particular investments are appropriate for their clients.

Definitions

Standard Deviation is a measure of price variability (risk). **Alpha** is an indication of how much an investment outperforms or underperforms on a risk-adjusted basis relative to its benchmark. **Beta** is a measure of price variability relative to the market. **Sharpe Ratio** is a measure of excess reward per unit of volatility. **Correlation** is a measure of the similarity of performance. the **ICE BofA 1-5 year US Treasury & Agency Index** measures the performance of US dollar denominated US Treasury and non-subordinated US agency debt. The **Bloomberg US Aggregate Bond Index** covers the investment-grade, U.S. dollar-denominated, fixed-rate taxable bond market, including Treasuries, government-related and corporate securities, MBS, ABS, and CMBS.

Teneo Partners

ご留意事項

◆本資料は、ファンドの状況及び関連情報のご提供を目的としており、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

◆ファンド投資には、運用会社提供資料及び／又は、「ＰＰＭ（目論見書）」などをご確認の上ご自身の責任のもとご判断ください。

◆本資料は、運用会社提供資料及び／又は、弊社が作成・編集・和訳をしたもので、正文は運用会社提供資料とします。

◆本資料のお取扱いは、お客さま／貴社関係者限りとし第三者への配布及び、情報提供者の承諾を得ない二次利用はできません。

◆本資料は、信頼できると考えられるデータ・情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、完全性及び将来の運用成果等について保証するものでは無く、記載内容は予告なく変更されることがあります。

◆本資料の金融商品は、値動きのある有価証券等に投資しますので基準価格は変動するため、投資元本や利回りが保証されているものではありません。

◆ファンドは、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

◆本資料の運用会社へのコンタクトをご希望される場合は、事前に弊社までご連絡をお願いいたします。 又、ファンドの詳細情報は、弊社までお問い合わせください。

TP2026082805

Teneo Partners 株式会社（テネオ・パートナーズ）

第一種及び第二種金融商品取引業　関東財務局長（金商）第2315号　加入協会：日本証券業協会
住所：〒104-0031　東京都中央区京橋3-3-2 小松ビル3階　Tel：03-4550-2518（代）
E-mail：info@teneopartners.co.jp HP：www.teneopartners.co.jp